



地域密着型の金融機関としての取り組み

～青沼支店 新規オープン～ 山梨県民信用組合

山梨県民信用組合(廣瀬正文理事長)は、4月19日ホテルクラウンパレスで、同信用組合の新店舗「青沼支店」の営業開始に先駆け、オープン記念祝賀会を開催した。

同信用組合は国中地域を拠点として営業を展開しており、平成16年に甲府中央、やまなみ、美駒、谷村の4信用組合による大きな合併があり現在に至っている。青沼支店は、現名称の「山梨県民信用組合」となってから初めての新店舗となる。

関係者約100名が招かれた祝賀会では、冒頭に廣瀬理事長から「当組合は信用組合の原点である相互扶助の精神を基本とし、お客様と十分なコミュニケーションを図りつつ、地域の皆さまの様々なニーズに迅速に答えてきた。新店舗オープンを契機にこれからも地域密着型の金融機関として、常にお客様に寄り添い金融仲介機能を持つ機関としてその存在感を十分に発揮し、地域社会の発展と成長に貢献して行きたい。」と抱負が述べられ、出席した関係者へ理解と支援を求めた。

来賓として招かれた中央会の細田幸次会長からは、「中央会は中小企業に対し組織を通じて様々な支援事業を行っているが、中小企業の事業

展開における金融面でのサポートは企業経営の潤滑油として欠かせない。支店の新規オープンは中央会としても歓迎しており、地域の皆さまからも理解をいただけるものと思っている。」とエールを送った。

山梨県民信用組合青沼支店(住所：甲府市青沼2-11-5、TEL 055-233-0205)は、オープンする5月7日(月)から2日間、オープニングイベントとして来店者へ食器用洗剤の配布、成約者のお客様へ記念品の進呈、ポップコーン、あんみつ、飲み物なども無料で振る舞い、地域密着型の金融機関として定着を図ることとしている。



オープン記念祝賀会の様子

山梨県民信用組合の想い

『この街に生まれ』『この街で育み』『この街が大好き!』

これからも地域とともに歩み続けます